

# 2021年5月7日 第3353回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 岡田 会長
- <斉唱> 「君が代」「奉仕の理想」
- <唱和> 「四つのテスト」
- <ゲスト紹介>
- \*三浦学苑高等学校
    - 校長 吉田 和 市 様
    - 職員 三輪 忠 文 様
  - \*三浦学苑インターアクトクラブ
    - 顧問教諭 荒川 冬 樹 様
    - 伊藤 知香子 様
    - 会長 三浦 果 穂 様
    - 幹事 橋本 葵 様
    - 副DIR 高田 歩 美 様
    - ブルキナファソ担当長 川崎 七 海 様
    - 発表者 川野 夏 様
    - 庶務担当 長田 希 華 様
  - \*横須賀ローターアクトクラブ
    - 会長 竹岡 力 様
    - 幹事代行 小用 悠 太 様
    - インターアクト担当 望月 彩弥愛 様
  - \*米山奨学生
    - 朴 特 彦 様
  - \*東京海上日動火災保険㈱横須賀支社 支社長 上田 博 隆 様
  - \*VIRGO株式会社 代表取締役 田中 由紀子 様
  - \*株式会社日本教育指導協会 代表取締役 浅葉 孝 己 様
  - \*㈱タウンニュース社横須賀支社 支社長 安池 裕 之 様
- <誕生月祝>
- \*中村 正 (S29. 5. 1)      \*徳永 良 輔 (S 9. 5. 4)
  - \*福島 康 人 (S18. 5. 15)      \*加賀本 好 美 (S42. 5. 18)
  - \*根岸 文 彦 (S22. 5. 21)      \*田 邊 一 三 (S26. 5. 23)
- 各会員
- <入会月祝>
- ・高橋 秀 行 ・長尾 和 典 ・藤村 昌 一
  - ・伊藤 隆 義 ・齋藤 眞 且 ・小林 一 博
  - ・大竹 孝 憲 ・新倉 良 是 ・松本 好 史
  - ・二瓶 淨 幸 ・根田 拓 哉
- 各会員
- <会長報告> \*ガバナー事務所より

・青少年交換委員会開催のお知らせ

5月8日(土) 13:00~14:00 Zoom開催

<米山奨学生へ奨学金授与>

<委員長報告> \*雑誌委員会 加藤 博 副委員長よりロータリーの友5月号

\*出席委員会 小林(-)委員長より4月出席報告 4月分平均出席率77.23%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
4月 2日	117名	109名	86名(6名)	23名	2名	80.73%
9日	118名	107名	79名(6名)	28名	1名	74.77%
16日	118名	110名	79名(8名)	31名	2名	73.64%
23日	118名	107名	76名(6名)	31名	8名	78.50%
30日	117名	103名	74名(5名)	29名	10名	78.50%

<幹事報告> \*バーチャル国際大会について

<出席報告> \*出席委員会 小林(-)委員長より5月7日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
-----	--------	--------------	-----	---------	-----

117名	106名	73名(5名)	33名	7名	75.47%
------	------	---------	-----	----	--------

### <ニコニコ報告>

- ・三 役 三浦学苑高等学校吉田和市長先生をはじめ顧問の先生方ようこそお出で下さいました。
- ・三 役 三浦会長をはじめ三浦学苑インターアクトクラブの皆様、竹岡会長をはじめ横須賀ロータリーアクトクラブの皆様、米山奨学生 朴さんようこそ。よろしくお願ひいたします。
- ・西村 崑、大石、梁井、比護、小山 陽、畑、長谷川、田中、福西、木村、高橋 隆、鷺尾、鈴木 切、植田、猿丸、二瓶、立石、Loknath、吉田、上林、鈴木 健、川出、小平、三堀、前川、勝間、澤田、濱田、齋藤 眞、前田、長尾、小林(-)、杵 渕、徳永 各会員  
ロータリークラブ、ロータリーアクトクラブ、インターアクトクラブ合同例会よろしくお願ひいたします。活動報告楽しみにしています。ご出席の皆様、例会をお楽しみください。三浦学苑校長吉田和市長はじめ職員の皆様本日はありがとうございます。
- ・高橋 隆、小保内、小山 陽、瀬戸、吉田、藤村、前川、江沢、長尾、齋藤 眞 各会員  
米山奨学生 朴 恃彦様ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。卒業試験・国家試験に向けて頑張ってください。
- ・徳永、福島 両会員 誕生月祝いとして
- ・五十嵐 会員 誕生月祝いとして(3月)
- ・高橋 隆、長尾、藤村、齋藤 眞、小林(-)、二瓶 各会員 入会月祝いとして
- ・角井ロータリーアクト委員長 本日はロータリーアクトメンバーがお世話になります。エコバッグの販売は早い者勝ち。売切御免ですので、是非是非お買い求めの程よろしくお願ひいたします。
- ・岡田、田村、加藤 博、齋藤 眞 各会員 エコバッグ、皆様たくさん買ってロータリーアクトを応援しましょう！

### <卓 話>

青少年担当理事 高橋 隆 一 会員

5月はロータリー青少年奉仕月間です。ロータリークラブでは若い人達の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするため、青少年の生活力を高め将来への準備をしていただくことを目的に、4つのプログラムを設けています。

第一は、12歳から18歳までの青少年を対象にしたインターアクトクラブ、第二は、18歳からの若者を対象としたロータリーアクトクラブが夫々奉仕活動と自己研鑽に励んでいます。更に本年度より当地区では、若者のリーダーシップや人間としての成長を目的としたロータリー青少年指導員養成プログラムを復活しました。4つ目のプログラムは“青少年交換”で、年間8000人ももの青少年が長期・短期のホームステイを通じ国際交流や異国の文化や経済の見識を深めています。

未来を担う若者への支援はロータリークラブとしても大変重要な奉仕活動ですので、5月の青少年奉仕月間を青少年について考え活動する機会にさせていただければ幸いです。

ロータリーアクト委員長 角 井 駿 輔 会員

インターアクトクラブはロータリークラブのスポンサーの下12歳から18歳によって組織されるものです。2780地区では1965年に初めて組織ができた明德学園の他、2014年に発足した三浦学苑や、最も新しいところでは2019年に発足した北鎌倉女子学園などを含め12クラブが活動しています。一方この地区のロータリーアクトクラブは、1970年に相模原で発足し、1976年に組織ができた横須賀を含め5クラブが活動しています。なお、ロータリーアクトは当初は18歳から30歳まででしたが、2019年に年齢上限は撤廃され、若いと思われる方なら誰でも参加できるようになりました。

因みに、インターアクトは全世界145ヶ国で14,911クラブ、342,953メンバー、ロータリーアクトは180ヶ国10,698クラブ、203,298メンバーが活動しています。

### 「ブルキナファソ支援 活動」

## 三浦学苑インターアクトクラブ 川野 夏 様



この度の合同例会に於いて三浦学苑インターアクトクラブから「ブルキナファソ支援活動」についての報告をいたします。

ブルキナファソは、西アフリカに位置する内陸国で首都ワガドゥグーはその中央に位置する都市です。

南西部には東京ドームの約1個分(11,320平米)で6メートルもの高い塀で囲まれているロロペニという遺跡があり、世界遺産に認定されています。

ブルキナファソの人口は2千32万人あまりで世界第58位にランクされています。この国

は以前フランスの植民地だったことにより、公用語はフランス語です。ブルキナファソは、白ヴォルダ川、赤ヴォルダ川、黒ヴォルダ川の三つの川の上流に位置し、オートヴォルタと名づけられていましたが、1984年8月4日、当時の大統領のトーマス・サンカラによって現在の国名に改名され、ブルキナ共和国と表記されることもあります。「ブルキナ」はモシ語で高潔な人、「ファソ」はジュラ語で祖国を意味するので、ブルキナファソは、“高潔な人の国”という意味なのでしょう。伝説ではこの地域にモシ人が入植してモシ王国を建設し、ヤテンガ、テンコドゴなどのいくつかの王国が合体し、現在のブルキナファソになっていったそうです。

次に、私たちがブルキナファソを支援するに至った経緯をお話します。2017年にブルキナファソからバリー氏という人が来日し三浦学苑に来校しました。バリー氏はブルキナファソの外務大臣です。来校の理由は「ブルキナファソに三浦学苑の様な学校を建てたいので協力してほしい。」とのことでした。

ブルキナファソでは、学費が高く、テロが多発するなど極めて治安が悪いので、学校教育が安全に受けられる学校を建設するために協力して欲しいとの要請を受け、三浦学苑IACはブルキナファソを支援するプロジェクトを立ち上げました。そして私たちの支援活動の最終目的は「ブルキナファソに学校を建てる」こととなりました。しかし、学校の建設には、2600万円もの資金が必要と聞き、これは簡単なことではないと認識しましたが、ブルキナファソに学校を建てるという目標に向かって自分たちのやれることから一歩一歩活動を始めて行こうと決めました。

ここで、今まで活動してきた事をご報告します。まず、昨年本格的に支援活動を行っていくために、ブルキナファソにいるバリー氏とSKYPEを繋いでオンライン会議を開催し、何故学校を建設しなければならないのか、学校建設に向けて何が必要なのか等を話し合いました。4月には、横須賀ローターアクトクラブの方たちと三浦学苑で会議を行いました。その結果三浦学苑IACが行っていく支援活動は、大きくは物資企画と広報企画の2つの柱としました。

第一の物資企画として、ブルキナファソの国産品であるシアバターを売ることにしました。シアバターはシアバターの木の種子から作られ、ブルキナファソの他、ナイジェリア、ガーナ、コートジボワールなどでも生産されています。これは食用や薬としても用いられる他、私たちの必需品である石鹸やリップクリーム、ハンドクリームなどにも使われており、近年では重要な輸出品目となっております。

第二の物質企画として、体操服や体育館履きの回収を検討しますが、適切な保管場所が見つからない為まだ検討中の段階です。保管場所については三浦学苑IACだけでは解決が難しいので、ロータークラブやローターアクトのご協力をお願いしながら進めていきたいと思っております。

物質企画の第三は、使い終わったノートの余ったページを切り離してひとつにまとめ、リサイクルノートを作って現地の学生に送ることです。この活動はローターアクトと協力して行っていきます！

2つ目の大きな柱は広報活動です。三浦学苑IACだけでも行っていく広報企画は、SNSを立ち上げ、ブルキナファソについての投稿をアップし、学校内外の幅広い層の人たちにもこの国のことを知ってもらう事です。また、三浦学苑IAC独自のポスターを作成して学校内や昇降口に掲示したり、生徒会ブース

にブルキナファソ情報を大きな模造紙にまとめたものを掲示したりして、全生徒にブルキナファソへの理解と支援を呼び掛けています。また、24時間TVチャリティー募金でお世話になった衣笠商店街の井出新聞店様に三浦学苑広報誌の新聞折り込みをお願いし、地域の人々に私たちの活動を知ってもらう事も検討しています。三浦学苑の文化祭などでも、募金活動や、全校生徒の前でのスピーチや、スピーチコンテストでのアピールもしていきます。同時にインターアクトメンバーの間での勉強会を定期的に行います。

最後に、先ほどお願いした物資の保管場所のことや支援物資、援助資金などについてもロータリークラブ様、ローターアクト様にもご協力をお願いしたいです。我々高校生だけでは学校建設の夢を実現するのは不可能です。どうかご協力をお願い致します。

**三浦学苑高等学校**  
**校長 吉田 和 市 様**

本日三浦学苑IACの発表の機会を頂き心より感謝申し上げます。また、2023年には三浦学苑が当地区インターアクト12クラブの大会の当番校となりますのでそちらでもご協力をお願い致します。コロナ禍ではありますが、総会をオンラインも活用したハイブリットで行い、部活動も関東大会に向けて少しずつ活動を始めております。各スポーツの内容については神奈川新聞をご覧いただけたらと思います。これからも生徒の活動へのご支援をよろしく願いいたします。

**横須賀ローターアクトクラブ**  
**インターアクト担当 望月 彩弥愛 様**

最初に、インターアクトクラブの活動である“ブルキナファソ支援”に対するローターアクトのサポート活動についてご報告いたします。今年度の活動は①ブルキナファソ大使館訪問 ②バリーさんとのミーティング ③ブルキナファソ定例会 ④インターアクトとのミーティングと合同例会の4項目です。駐日ブルキナファソ大使館への訪問は昨年9月14日に実現しました。学校建設に必要なことやブルキナファソのことに関して説明を受けました。フランス語通訳を通じての会話で苦労しました。そこでは特命全権大使のパスカル・バジョボさんにお会いすることができました。去年の8月28日と今年の4月19日の朝にはバリーさんとSKYPEでミーティングをすることができました。バリーさんは日本語が話せるので、言葉の壁を感じることなくお話ができました。私たちローターアクトは、ブルキナファソの支援を行っているインターアクトの活動を確かなものにするために、毎週金曜日に定例会を開いて支援企画やブルキナファソに関する情報交換などを行っております。今は、募金企画とブルキナファソについてわかる資料の作成を中心に動いています。定例会はZOOMで行っていますので、興味のある方はご連絡いただければ、ミーティングIDとパスワードを連絡しますので、ぜひ参加してください。10月31日には、三浦学苑高等学校にて合同例会も開催し、ブルキナファソ支援をどの様に進めたら良いかというテーマで話し合いを行いました。今後も三浦学苑IACとの合同例会を続けて参ります。

**横須賀ローターアクトクラブ**  
**会長 竹岡 力 様**



次にエコバックプロジェクトについて報告します。年度初めの7月1日からレジ袋が有料化され、また、今年度のクラブテーマであるサステイナブルであることから、エコバックを作成しました。デザインは30歳以下を対象に「あなたの考える横須賀」をテーマに募集しました。応募総数33点から審査の結果、一番若い応募者である大塚台小学校の5年生（当時）のデザインを採用しました。環境教育に力を入れている大塚台小学校の総合学習のゲストティーチャーとしてお邪魔させて頂き、このプロジェクトの紹介をさせていただきました。製品化については柳屋さんに多大なるご協力をいただきました。本日販売をさせて頂いてお

りますのでぜひご購入いただけますようお願い致します。

今年度、5名新会員が入会しました。今後も引き続きメンバー増強と更なる活動の発展を目指してまいりますのでご支援をお願い致します。



<閉会・点鐘> 13:30 岡田 会長

週報担当 笠木 英文